



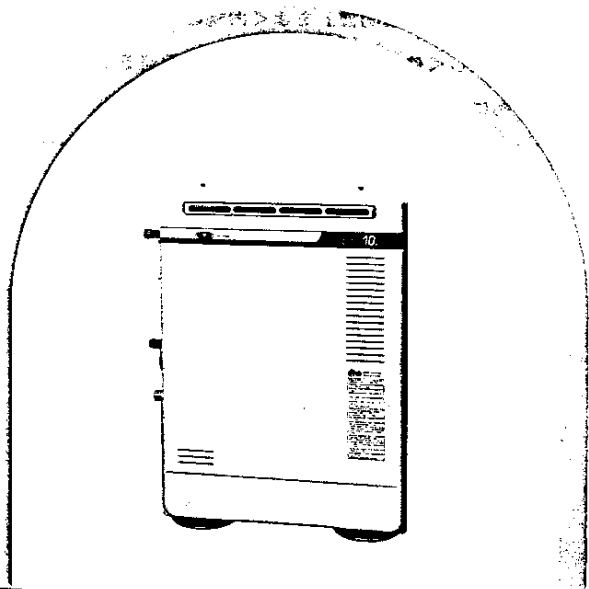
大阪ガス

ガス風呂釜 〈電子コントロール方式〉 〈セントラル給湯機能付き〉

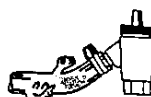
取扱説明書

31-036型

保証書付



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



空だきには十分
注意しましょう。



使用中は、熱
くなります。
手をふれない
でください。



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜〈セントラル給湯機能付き〉を、お求めいただきまして、ありがとうございます。

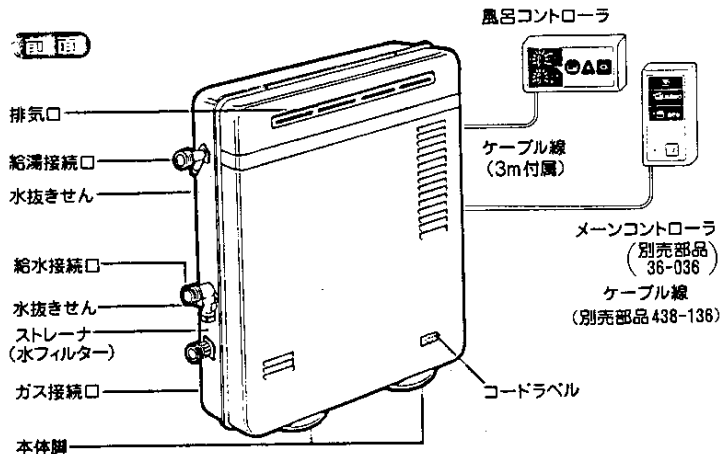
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ器具を正しく使っていただき、別添の保証書とともに大切に保存してください。

もくじ

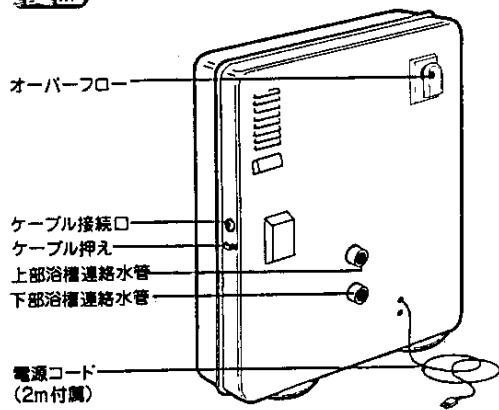
・各部の名称	1
・操作部の名称とはたらき	2
・特に注意していただきたいこと	3
・使用方法	8
・凍結による器具の破損を防ぐために	14
・日常の点検とお手入れ	16
・故障・異常の見分け方と処置方法	18
・保管(長期間使用しない場合)	20
・アフターサービスのお申し込み	20
・仕様	21

各部の名称

前面

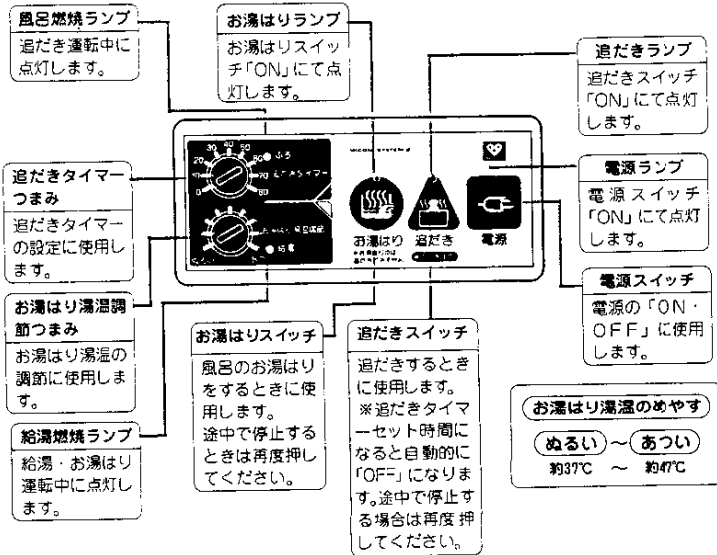


後面

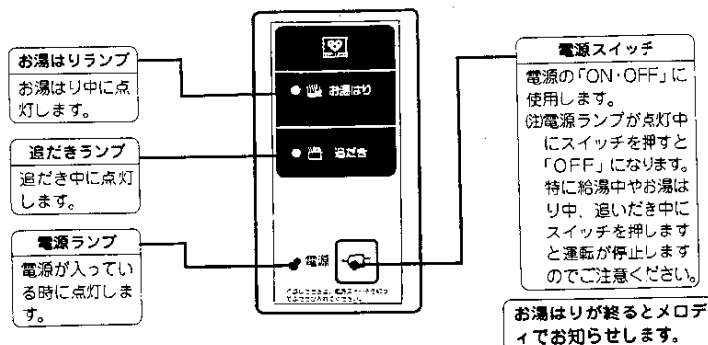


操作部の名称とはたらき

■風呂コントローラ



■メインコントローラ(別売部品) 36-036



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
- 本体側板に貼ってある銘板に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかまず確かめてください。
- ※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 断宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

銘板

型式
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

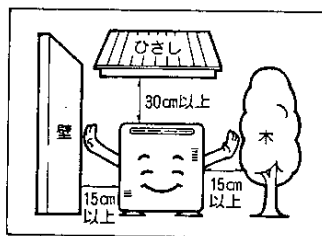
- 都市ガス用 6C
- 都市ガス用 13A
- 都市ガス用 6A
- LPガス用

使用電源について

- 電源の電圧と周波数をたしかめてください。
- この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかたしかめてください。

器具の設置

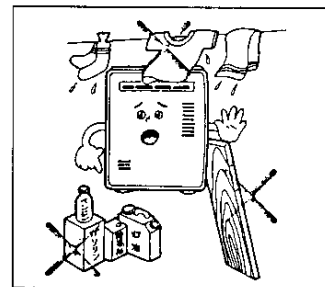
- 詳しくは工事説明書をお読みください。
- 安全な位置に正しく設置されているか確認してください。



特に注意していただきたいこと②

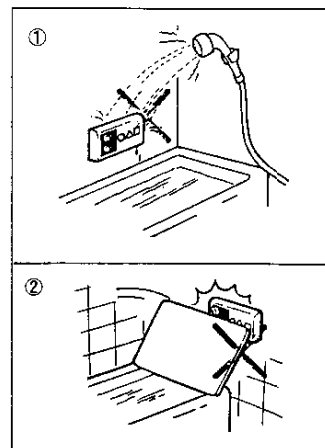
火災予防

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
- 特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。
- 火をつけたままで就寝・外出は絶対にしないでください。
- 前板を取りはずしたまま絶対にご使用しないでください。



使用場所

- この器具は屋外用ですので屋内では使用しないでください。
- 壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
- 風呂コントローラを、①シャワーの水・湯がいつもかかりそうところ、②風呂のフタがあたるところには設置しないでください。



- メインコントローラ(別売部品)は、ガスコンロや、ガスレンジの上には取り付けしないでください。

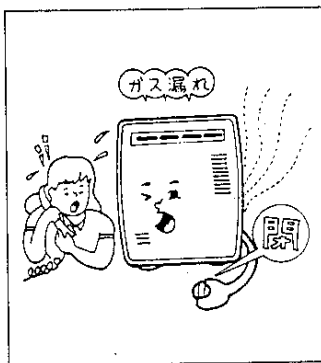
特に注意していただきたいこと③

ガス事故防止

- ・ガス漏れに気づいた時は、すぐ使用をやめてガス元せんを開け、もよりの販売店、もしくは大阪ガス各支社にご連絡ください。

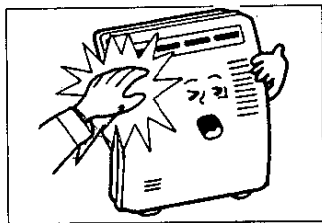
注) 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどをしないでください。火や、火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。

- ・長時間使用しないときは、ガス元せんを必ず開けてください。



使用上の注意

1. 給湯及び追いだし以外の用途には使用しないでください。
2. 飲用にお使いのときのご注意
 - ・器具や銅管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。
3. 市販の補助具使用についてのご注意
 - ・この器具の補助用具以外は使用しないでください。(不完全燃焼の原因となります。)
 - ・混合水せんをご使用になる場合は出口が絞られていないもの(瞬間湯沸器用混合水せん)を選定してください。水圧の低い地域では泡末水せんを使用しないでください。
4. 火傷(やけど)にご注意ください。
 - ・使用中および消火直後は、前板や排気口が高温になっていますので絶対に手を触れないでください。



特に注意していただきたいこと④

5. 雷時にはご注意ください。

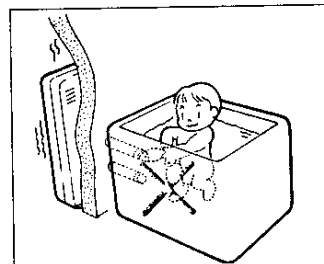
- ・雷による一時的な過電流で電気部品を損傷することがありますので安全のため、雷が発生したときは使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、(分電盤の専用スイッチをOFFにして)ください。

6. 入浴剤や洗剤についてのご注意

- ・硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

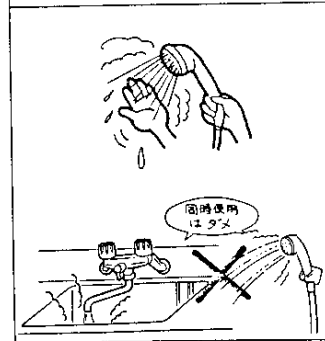
7. 過熱防止について

- ・ふろ追だきする場合、湯当りの上端より10cm以上浴槽に水が入っていることを確かめてから点火してください。又、点火後は時々水がもれてないか確認してください。
- ・浴槽の循環口はタオルなどでふさがないようにしてください。



8. シャワーの使用について

- ・シャワーをお使いになるときや、シャワーをお使いになってお湯を止められた直後に再度お使いになるときは、いきなり体や頭にかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。
- ・シャワーをお使いのとき、ほかの給湯せんと同時使用しますと湯量・湯温が変化しますのでやめてください。
- ・器具を使用中(特にシャワー使用中)、水洗トイレをご使用になりますと、湯温が急に変化する場合があります。



凍結についてのご注意

- ・冬期器具内の水が凍る恐れのあるときは、凍結による器具の破損を予防するため、凍結予防の処置を必ず行ってください。電源プラグを抜かないで(分電盤の専用スイッチを「OFF」にしないで)ください。

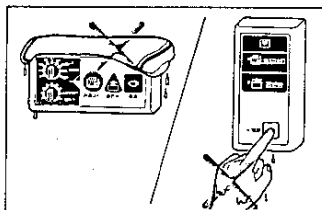
特に注意していただきたいこと⑤

異常時の処置について

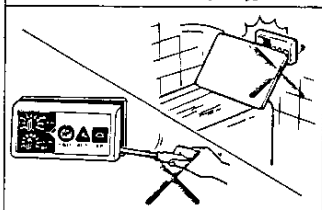
- ・万一異常燃焼を起こしたときや、緊急の場合、あわてず電源スイッチを切り、電源プラグを抜くとともに、ガス元せんを閉じて消火してからお買い求めの販売店または大阪ガス各支社に連絡してください。

コントローラについてのご注意

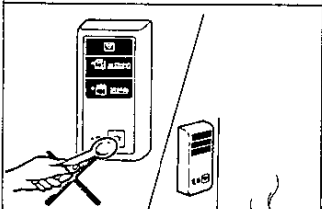
- (1) 濡れたタオルなどを絶対にコントローラにかけないでください。又、メインコントローラ(別売部品)は濡れた手で操作しないでください。



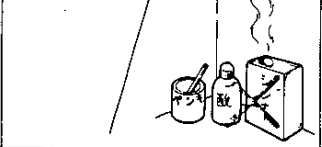
- (2) 風呂コントローラは防湿構造になっていますので、風呂コントローラのふたをはずしたり、浴そうのふたなどをあてたりしないでください。



- (3) つまみ、押しボタン類は必ず手でかく操作し、強い力をかけないでください。



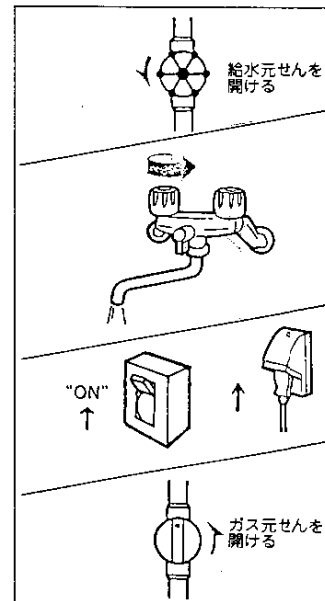
- (4) メインコントローラ(別売部品)のそばに薬品(シンナー・塗料・油・アンモニア・酸類など)を置かないようにしてください。



使用方法

ご使用前の準備

1. 給水元せんを全開にしてください。
2. 給湯せんを開けて、水の出ることを確認してから開めてください。(全ての給湯せんについて)
3. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを「ON」にしてください。)
4. ガス元せんを全開にしてください。

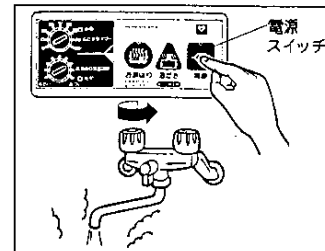


給湯の使い方

- 1) 電源スイッチを押します。
・電源ランプが点灯します。



- 2) 給湯せんを開けます。
・メインバーナに点火し、お湯が出ます。
・点火と同時に給湯燃焼ランプが点灯します。



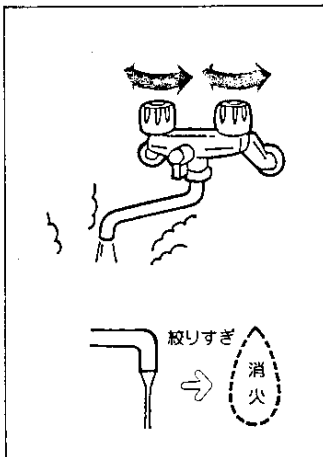
使用方法②

2. 湯温調節

- この器具は湯温が一定になるよう（約60℃）設定されており、混合水せんで必要な湯温と湯量に調節してお使いください。

〈ご注意〉

- この器具は混合水せんが必要です。
- 給湯せんの湯量を約3ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナの火が消えるようになっています。
- 給湯せんの湯量が給湯能力以上の場合は、熱いお湯が出ない場合がありますので湯量を絞ってお使いください。
- 給湯せんで湯量を調節しますと水の中の空気が分離して気泡となり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。

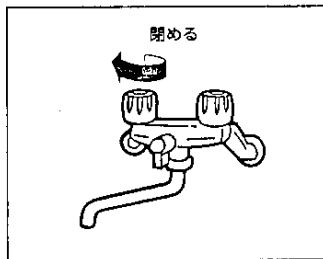


3. 消火機能

- 給湯せんを閉めます。
- お湯が止まり、メインバーナが消火し、給湯燃焼ランプが消えます。

注）メインバーナ消火後、本体のファンモータは、約7分間まわっています。

- 次にお使いになるときは、給湯せんを開けるだけでお湯が出ます。



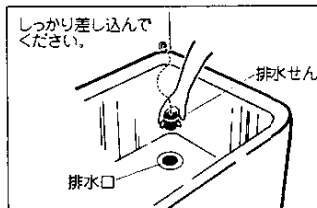
使用方法③

ふろのお湯はり・追だきの使い方

- 風呂コントローラの「お湯はりスイッチ」を押すだけで適温・適量のお湯を浴そうに張ることができます。

1. お湯はり

- 浴そうの排水せんで、水漏れのないように排水口にしっかり差し込んでください。（浴そうに風呂蓋をしてください。）



- 電源スイッチを押します。電源ランプが点灯します。

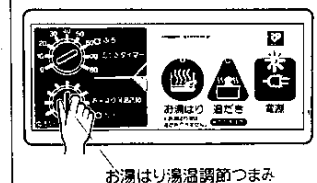
〈ご注意〉

- 給湯せんが開まっていることを確認してから電源を入れてください。



- 風呂コントローラの「お湯はり湯温調節つまみ」を回し、ご希望のお湯はり湯温にあわせます。

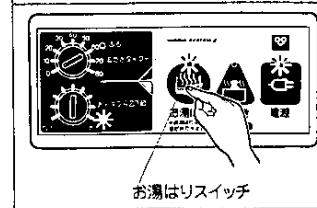
〈表示〉ぬるい～あつい
 〈温度〉約37℃～約47℃
 （この温度は目安です。）



- お湯はりスイッチを押します。お湯はりランプが点灯し、しばらくして給湯燃焼ランプが点灯します。浴そうの循環口からお湯が出てきます。

〈ご注意〉

- 給湯せんでお湯を使用中にお湯はりスイッチを押しますと、お湯はり湯温が優先になり湯温がさがります。



使用方法④

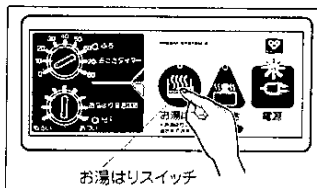
⑤設定した水位に達しますと、お湯はりが停止します。

- ・お湯はりランプ・給湯燃烧ランプが消えます。

〈ご注意〉

- ・お湯はり中に給湯せんを使用した場合、お湯はりが停止しますとお湯はり湯温から給湯湯温にもどり、湯温があがりますのでご注意ください。
- ・お湯はりが停止しても本体のファンモータは約7分間まわっています。

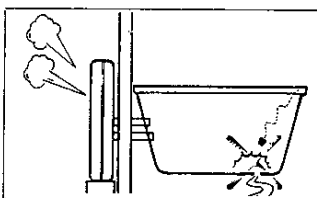
⑥途中で停止する時は再度、お湯はりスイッチを押してください。
お湯はりが停止し、お湯はりランプ・給湯燃烧ランプが消えます。



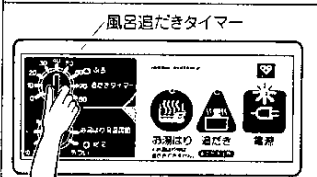
お湯はり・追だき

①湯当りの上端より10cm以上うへまで水（またはお湯）が満たされていることを確認してください。

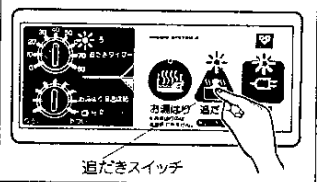
※浴そうの排水せんは水漏れのないようにしっかり差し込んでください。



②風呂追だきタイマーをお好みの時間にセットしてください。



③追だきスイッチを押してください。
追だきランプが点灯し、しばらくして風呂燃烧ランプが点灯します。



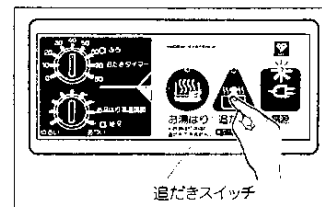
〈ご注意〉

- ・風呂追だき中に追だきタイマーつまみを動かしますとタイマーが大巾に変わりますのでセット時間を変えるのはさけてください。
- ・追だきタイマーつまみは「0」の方向にもどっていきません。

使用方法⑤

④追だきタイマー設定時間がくると自動的に消火します。

- ・途中で停止する時は再度、風呂追だきスイッチを押してください。
追だきランプ・風呂燃烧ランプが消えます。
- ・追だきが停止しても、本体のファンモータは約7分間まわっています。
- ・風呂を沸騰させますと、オーバーフローから蒸気がでたり、お湯がもれたりしますので沸騰させないでください。



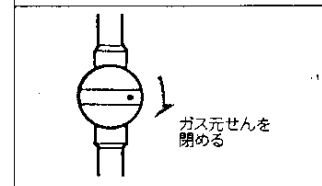
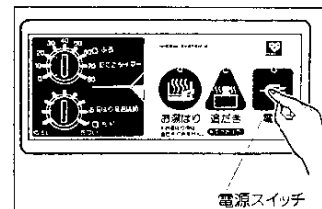
長時間使用しない場合

（お出かけや、おやすみの際など）

- ①電源スイッチを押してください。
電源ランプが消灯します。
- ②ガス元せんを開けてください。

〈ご注意〉

- ・電源プラグをコンセントから抜かないでください。



使用方法⑥

メインコントローラ(別売部品)について

- 別売部品のメインコントローラを台所又は洗面所に取り付けますと、浴室までいなくても電源の入・切操作ができるようになります。お湯はり終了をメロディでお知らせします。

- ①メインコントローラの電源スイッチを押してください。
- ・メインコントローラ・風呂コントローラの電源ランプが点灯します。

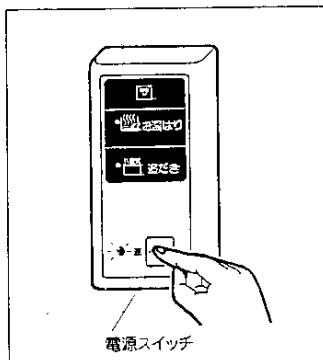
- ②お湯はり中にお湯はりランプが点灯し、追だき中に追だきランプが点灯しています。

注)メインコントローラ・風呂コントローラの電源ランプが点灯中にどちらかの電源スイッチを押しますと、OFFになります。
特に給湯中や、お湯はり中、追だき中にスイッチを押しますと運転が停止しますのでご注意ください。

- ・使い終わった後、電源スイッチを押してください。
- ・メインコントローラ・風呂コントローラの電源ランプが消灯します。

停電後の使用方法

- ・停電すると自動的にガスを止め、給湯・追だきとも運転停止します。ただし、水は止まりませんので、カランを開めてください。
- ・使用を一旦中止し、通電再開後、再操作をおこなってください。
- ※この器具は電気で作動しますので、停電中は使用できません。



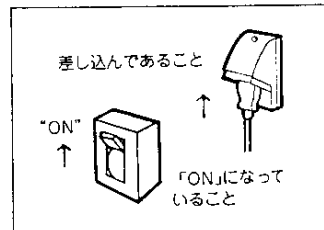
凍結による器具の破損を防ぐために

凍結のおそれのある場合のみ操作します。長期間不在される場合や寒さがきびしいとき、または寒冷地でご使用の場合には、凍結による器具の破損を防止するため必ずつぎの順序で凍結防止処置をしてください。

①凍結予防ヒーターによる方法

- この器具には、凍結予防のため自動的に器具内を保温する電気ヒーターを組みこんでいます。

- ①電源プラグがコンセントに差し込んであること(分電盤の専用スイッチが、「ON」になっていること)を確認してください。
- ・電源プラグが抜けている(分電盤の専用スイッチが「OFF」になっている)とヒーターが動きませんのでご注意ください。



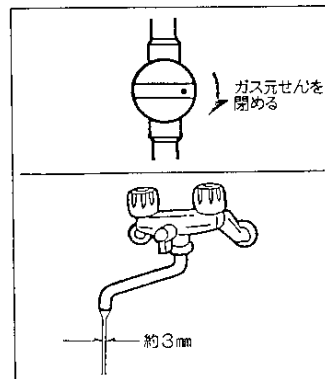
②通水法(給湯せんから水を流す方法)

- この場合は器具本体だけでなく、給水・給湯配管、水せんの凍結も予防します。

- ①風呂コントローラの電源スイッチを切ってください。
- ②ガス元せんを開めてください。
- ③お風呂場の給湯せんを開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本ぐらい)の水を流しておいてください。

注)流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。

- ※電源プラグを抜かないでください。
- ※浴槽の水は抜いてください。

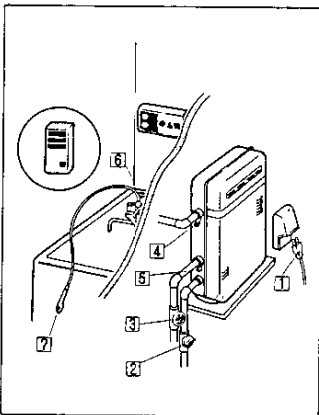


凍結による器具の破損を防ぐために②

③水抜きによる方法

次の順序でおこなってください。

- ①器具の電源プラグ①を抜き、ガス元②を閉める。
- ②給水元せん③をしっかりと閉める。
- ③水抜きせん④・⑤を開ける。
- ④給湯せん⑥またはシャワーせん（シャワーを取り付けている場合）を全部開ける。
- ⑤シャワーヘッド⑦を床面まで下げる。
 - 給湯せん⑥およびシャワーヘッド⑦と、水抜きせん④・⑤から水が抜けるのを確認してください。
 - 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。（水抜きせん④・⑤をはずしたままにしておいてください。）



水抜き後の使用方法

- ①水抜きせん④・⑤を元通りしっかりと閉める。
- ②ガス元せんを止めた状態および器具の電源プラグを抜いた状態で給水元せん③を開け、給湯せん⑥およびシャワーヘッド⑦から水が出ることを確かめたのち、給湯せん⑥およびシャワーせんを閉める。
- ③8ページの「使用方法」に従ってお使いください。

凍結したときは

- 器具や配管が破損すると高額な修理費がかかる場合があります。（有償）
- 凍結したまま使いますと、器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結がとけた後、水漏れがないのを確認してからご使用ください。

日常の点検とお手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉し、電源プラグをコンセントから抜き（分電盤の専用スイッチを「OFF」にし）、器具が冷えてからおこなってください。
- 安全装置及びガス通路部分、電気回路は絶対に分解しないでください。

点 検

- 器具および配管より、水漏れ・ガス漏れはありませんか。（ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください。）
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありますか。

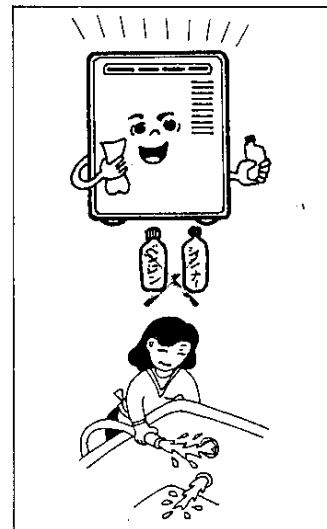
お手入れ

- 器具の表面が汚れたときは、中性洗剤で軽く拭いた後、乾いた布で十分に水気をとっておいってください。シンナー・ベンジンなどでは拭かないでください。

注) コントローラの内部には電気部品がはいつていますので、絶対に水をかけないでください。

- ときどき給水接続口のストレーナ（水フィルター）を掃除してください。

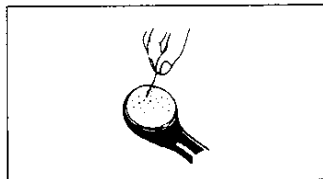
- ときどき浴槽内の循環口から強く水を入れて熱交換器の内部を水洗いしてください。



日常の点検・お手入れ②

●シャワーヘッドのお手入れ

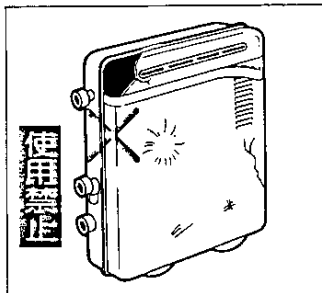
シャワーヘッドの噴出口がつまりますと湯量がへったり、バーナに火がつかなかったりしますので、ときどき針などでお掃除して通水を良くしてご使用ください。



風呂釜が古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がつかまります。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元せんを開めてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

点検の結果

- 故障または、破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置にこまるような場合にはお買い求めになった販売店が大阪ガス各支社までご連絡ください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ランプ点検時の処置方法

器具及び使用方法に不都合があった場合は、自動的に運転を停止し、コントローラのランプが点滅します。

ランプ	使用状態	内容	処置方法
電源ランプと給湯燃焼ランプ	給湯使用	・点火ミス ・失火	ガス元せん確認後、電源スイッチを一旦切って再操作。 電源スイッチを一旦切って再操作。
電源ランプと風呂燃焼ランプ	ふろ使用	・点火ミス ・失火	ガス元せん確認後、電源スイッチを一旦切って再操作。 電源スイッチを一旦切って再操作。
電源ランプとお湯はりランプ	お湯はり使用	・浴そうせんモレ	浴そうの排水せんを確認後、電源スイッチを一旦切って再操作。

〈ご注意〉

- (1) 電源スイッチを入れてもランプが点灯しない場合。
 - ・停電の場合は通電するまで、お待ちください。
 - ・停電でない場合は、電源プラグを一旦抜き、再び差し込んだ後（分電盤のスイッチを一旦「OFF」にし、再び「ON」にした後）、再操作してください。
- (2) 再操作しても状況が変わらない（ランプが点灯しない）場合。
 - ・必ずガス元せん、給水元せんを開め、電源プラグを抜いて、（分電盤のスイッチを「OFF」にして）から、もよりの販売店が大阪ガス各支社にご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

早見表

現象 原因	原因											処置および 処置方法										
	給湯器の電源が切れている	ガス元せんの開き忘れ・不足	電源プラグが抜けている	停電している	ガス圧が適切でない	安全装置が作動した	排気口づまり	水フィルターづまり	お湯はり水位スイッチ調節不良・故障	お湯はり電磁弁の故障	他の水せんの使用による水圧変動		給水元せんの開き忘れ・不足	水圧が適切でない	水流スイッチの故障	水コントロール部の故障	ガス燃焼部の不良	風呂コントローラの故障	メインコントローラの故障	浴槽連絡水管の施工不良	本体基板の故障	
ガス元せんの開き忘れ・不足		○																				ガス元せんを全開にする
電源プラグが抜けている			○																			電源プラグを差し込む
停電している				○																		一旦使用を中止し通電をまつ
ガス圧が適切でない					○																	点検を依頼する
安全装置が作動した						○																〃
排気口づまり							○															〃
水フィルターづまり								○														フィルターを掃除する
お湯はり水位スイッチ調節不良・故障									○													点検を依頼する
お湯はり電磁弁の故障										○												〃
他の水せんの使用による水圧変動											○											使用上の注意P5を参照
給水元せんの開き忘れ・不足											○											給水元せんを全開にする
水圧が適切でない												○										点検を依頼する
水流スイッチの故障													○									〃
水コントロール部の故障														○								〃
ガス燃焼部の不良															○							〃
風呂コントローラの故障																○						〃
メインコントローラの故障																		○				〃
浴槽連絡水管の施工不良																						〃
本体基板の故障																						〃

ご不審な点や、処置できない場合は販売店もしくは大阪ガス各支社にご連絡ください。
なお、ご連絡いただくときは器具に貼付してある品番をお知らせください。

保管(長期間使用しない場合)

- ①水道の元せんをしめてから器具内の水を全部抜いてください。
(15ページ水抜き法参照)
- ②ガスの元せんをしめて、電源を切り、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
- ③浴そうの水も抜いてください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- ・19ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- ・確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1)品名…ガス風呂釜
- (2)品番…前板右下側に貼付してあります。
- (3)現象…(できるだけ詳しく)
- (4)道順…(できるだけ詳しく)

例 (4)31-036(U)
大阪ガス株式会社

転居される場合

- ・ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- ・この器具には保証書がついています。このガス風呂釜は保証書に記載のように器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

仕様

■仕様一覧表

器 種 名	31-036型(屋外設置型)		
形 式 の 呼 び	RFS-1000USOA-A		
外 形 寸 法 (mm)	高さ830×幅598×奥行110		
重 量 (kg)	27		
操 作 方 式	コントロール操作		
点 火 方 式	電気式連続スパーク点火		
標準能力	給 湯	10号～3.2号	
	追 だ き	10,000kcal/h	
給 湯 器	最低作動水圧	0.3kg/cm ²	
	最低作動水量	3.2ℓ/分	
	出 湯 温 度	約60℃定温出湯	
お湯はり湯温調整範囲	約37℃～約47℃		
風呂消火方式	電子タイマー方式(最大80分)		
接 続	給 水	15A (R1/2)	
	給 湯	15A (R1/2)	
	ガ ス	20A (R3/4)	
	電 気	AC100V・60Hz(電源コード本体より2m)	
	循環口取付口径	外径45mm・ピッチ100mm	
消 費 電 力	66W(別途凍結予防ヒーター110W)		
■個別ガス消費量			
使用ガス	1時間当りガス消費量		
	給湯器	ふろ釜	同時使用時
都市ガス用6C(kcal/h)	19,300	10,000	29,000
都市ガス用13A(kcal/h)	19,300	10,000	29,000
都市ガス用6A(kcal/h)	19,300	10,000	29,000
L P ガス用(kg/h)	1.60	0.83	2.41

■本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本 社	〒541	大阪市東区平野町5-1	☎大阪06(202)2221
南 支 社	〒557	大阪市西成区玉出東2-9-41	☎大阪06(652)0001
北 支 社	〒532	大阪市淀川区十三本町3-6-35	☎大阪06(301)1251
堺 支 社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺0722(38)1131
北 摂 支 社	〒589	高槻市藤の里町39-6	☎高槻0728(71)0361
阪 神 支 社	〒662	西宮市和上町4-11	☎西宮0798(26)3101
東 部 支 社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内0729(62)1131
京 阪 支 社	〒573	枚方市西田宮町16-17	☎枚方0720(41)1251
神 戸 支 社	〒650	神戸市中央区相生町5-13-10	☎神戸078(576)5231
京 都 支 社	〒604	京都市中央区烏丸通御池角	☎京都075(231)8151
奈良 支 社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎奈良0742(44)1111
和 歌 山 支 社	〒640	和歌山市本町1-1-1	☎和歌山0734(31)2481
姫 路 支 社	〒670	姫路市神楽町4-8	☎姫路0792(85)2221
東 播 支 社	〒675	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川0794(21)1801
豊 岡 支 社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎豊岡07982(3)2221
湖 南 支 社	〒525	彦根市追分町字荒塚680-1	☎彦根0775(62)5311
彦 根 支 社	〒522	彦根市大東町12-11	☎彦根0749(22)3131
長 浜 営業所	〒526	長浜市南浜瀬町3-4	☎長浜0749(62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社